

みんなで一緒に心地よい汗 里山ハイキング

16回目を迎える里山ハイキングが11月1日、141人が参加して行われました。今回はふれあいパークを出発して市内の寺社仏閣をめぐる約10kmのコース。折り返し地点の飯高檀林跡では、昼食として雑煮などが振る舞われ、「おかわり」の声が何度も聞かれました。

また、この日は11月にも関わらず気温25℃を記録。参加者たちは心地よい汗を流しました。



飯高神社の美しい彫刻に驚きの声

飯高寺境内で落ち葉を回収するクラブ員たち



八日市場学園社会活動クラブ

飯高寺で清掃ボランティア

飯高寺をきれいにしようと八日市場学園の利用者たちが毎週水曜日、ボランティアで清掃活動を行っています。これは、学園内にある社会活動クラブの一環として10年ほど前から行っているもので、いつも遠足などで訪れる飯高寺をきれいにしたいという思いから始まったのがきっかけ。クラブ員たちは、広い境内にある落ち葉を熱心に集めていました。

北総に響く「あんりゃあどした」

房総のむらで西本町区の神輿渡御

県立房総のむら「秋のまつり」が11月3日に開催され、本市から西本町区の囃子連など祭り関係者約120人が招かれ、現地で神輿の渡御を行いました。同区は数年前から招かれて現地でお囃子を披露してきましたが、今回初めて神輿の渡御が実現しました。若衆たちに担がれた神輿は、大勢の観客に見守られながら「あんりゃあどした」の掛け声とともに、休日のにぎわう古い町並みを練り歩きました。



古い町並みを背景に神輿が踊る



入賞した乳牛と秋山さん
(共進会会場にて)

安全でおいしいミルクを

秋山さんの牛が県共進会で金賞

第58回千葉県乳牛共進会が10月20日に千葉市で開催され、本市から出場した秋山忠史さんが、見事2部門で金賞に輝く好成績を収めました。「私が加入している匝瑳市酪農組合では、組合員が一丸となって食の安全に配慮し、安全・安心で、おいしい牛乳作りに励んでいます。地元で搾ったおいしい牛乳を皆さんにぜひ飲んでほしい」と笑顔で語りました。

1ミクロンの薄さを競う

全国削ろう会で川口さんが優勝

新潟県三条市で10月10～11日に開催された第24回全国削ろう会で、本市から参加した川口泰弘さん（長谷）が、薄さ4ミクロン・長さ2メートルという超極薄のくしを削りだし、見事優勝しました。

同会は、名古屋の宮大工をはじめ大工道具や砥石を扱う人たちが、鉋を使って、より薄く、より幅広く、より長いくなくずを出す競技大会を開こうと平成9年に設立。年2回、大工などが集い、全国各地で競技大会を開いています。

優勝した川口さんは「ミクロン単位で薄さを競うので、鉋の底や刃の状態にとても気を使います。今後は大会2連覇を目指し、本業の建設業も頑張りたい」と熱く語りました。



全国削ろう会で
見事優勝した川口さん



新鮮野菜を買い求める来場者たち

さわやかな秋空に恵まれた11月8日、市役所南側駐車場を中心会場として第4回そうさ農業まつりが開催されました。会場にはたくさんのテントが立ち並び、新鮮地元産野菜・色鮮やかな花植木・手作り加工品などの展示販売や無料配布が行われ、来場者の長い行列が会場を埋め尽くしました。

また、ステージ広場では、女性チームも参加した丸太切り競争や活気あふれるのさか太鼓の演奏。続いて子どもたちに大人気のソーサマンショーや軽妙なトークで笑いを誘う植木のオークション、最後はトラック3台を使った紅白もち投げが盛大に行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

来場者なんと2万人 そうさ農業まつり

市内を空から見てみよう

図書館に航空写真パネル

匝瑳市が誕生してからもうすぐ4年。より一層の市民融和をはかるため、のさか図書館（11月24日オープン）と八日市場図書館の入り口に11月13日、匝瑳市航空写真パネルが設置されました。幅135cm、高さ172cmのパネル上に、縮尺一万分の一で市内全域がカバーされており、立ち止まって自分の家を探す人などが多く見られています。



のさか図書館前に置かれたパネル

住民同士の親睦目指して

ヨイトコ下富谷まつり

下富谷コミュニティセンターで10月10日、地区住民手作りの「ヨイトコ下富谷まつり」が開催されました。これは、住民同士の親睦や下富谷音頭の普及の一環として行われたもので、当日は同地区内の養護老人ホーム「瑞穂園」の全面的な協力もあり、スタッフなど約50人のボランティアでまつりを運営。豚汁や焼きそばなどの模擬店に加え、地元農産物の直売や演芸発表など盛りだくさんの内容に、会場は地元の来場者でにぎわいました。

会場を盛り上げる踊り手たち



本市の魅力をPR

植木銘木めぐり

八日市場植木組合主催の「植木銘木めぐり」が10月25日、市内で行われました。

この日の参加者は19人で、市民をはじめ、遠くは東京から来たという人も。ほぼ1日かけて市内の植木農家を見学し、「これは何ていう木？」「手入れの仕方は？」などと、組合員に熱心に質問をする姿が見られました。



高度な造形技術に興味津々



目録を手に諏訪センター長（左）と江波戸市長

これは、同社が社会貢献活動の一環として行っているもので、当日は成田支社銚子営業センターの諏訪センター長から江波戸市長に目録が手渡されました。

東京電力(株)が防犯灯寄贈

安心・安全なまちづくりへ

東京電力株式会社から10月30日、防犯灯5灯が市に寄贈されました。